

# 平成19年度 沖縄振興特定事業計画評価表

沖縄県

平成20年6月

沖縄振興特定事業計画評価表【保健衛生施設等整備事業】

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

県民が安心して暮らせるよう、感染症の発生予防・まん延防止体制の確保など保健衛生の推進を図り、医療提供体制等の環境整備を促進する。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H15年)	実績値 (H17年)	実績値 (H18年)	実績値(A) (H19年)	目標値(B) (H23年)	達成率 (%)
結核患者罹患率	人/10万人	24.4	22.7	20.8	18.9	15.5	82.0

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。(B)/(A)\*100

(2) 達成状況に対する説明

保健衛生設備として、血液自動分析装置及び保健所用自動車の整備を図ったことにより、結核対策業務の円滑な実施が可能となり、目標達成に向け、着実に前進することができた。

3 目標達成に対する今後の取り組み

指標の目標を達成するため、引き続き保健衛生設備の更新等を行う。

沖縄振興特定事業計画評価表【地域介護・福祉空間整備等施設整備事業】

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

高齢者が安心して暮らせる環境づくりを図るため、介護・福祉施設について個人の尊厳を重視した個室・ユニットケア型施設への転換を促進する。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H17年)	実績値 (H18年)	実績値(A) (H19年)	目標値(B) (H26年)	達成率 (%)
特別養護老人ホームの個室・ユニット化率	%	5.3	6.9	7.7	28.0	27.5

※平成19年度実績は、事業完了年度となる平成20年度の実績見込値である。

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。 (A)/(B)\*100

(2) 達成状況に対する説明

平成20年度の事業完了後には、特別養護老人ホームの個室ユニット数が従来の282室から30室増加して合計312室となる予定であり、個人の尊厳を重視した高齢者が安心して暮らせる環境づくりの充実に大きく寄与することが見込まれる。

3 目標達成に対する今後の取り組み

今般実施した事業の早期完了を図るとともに、他の既存施設の改築を進め、特別養護老人ホームの個室ユニット化に努める。

沖縄振興特定事業計画評価表【学校教育設備整備事業】

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

産業教育による専門的な知識や技術の活用能力の向上に努め、また、特別支援教育による児童・生徒の障害の状態及び特性等に応じた教育を推進するため、教育の基盤となる施設・設備の充実を図る。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H15年)	実績値 (H17年)	実績値 (H18年)	実績値(A) (H19年)	目標値(B) (H23年)	達成率 (%)
就職内定率(高等学校)	%	70.8	84.1	86.4	86.7	90.0	96.3
進路決定率(特別支援学校)	%	75.0	88.8	90.2	91.4	94.0	97.2

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況をいう。(A)/(B)\*100

※目標値(H23年)については、平成20年3月に第3次沖縄県教育推進計画が策定されたことを受け、当該計画に記載された目標値に変更している。

(2) 達成状況に対する説明

産業教育設備整備事業について、農業・工業・水産業その他の産業に従事する上で必要な知識・技能を効果的に習得させる環境設備が整えられてきており、生徒の各種資格の取得に寄与している。こうしたハード面の整備の効果に加えジョブアドバイザーの配置やインターンシップの実施といったソフト面の支援をあわせて実施したことにより効果的な事業の推進が図られた。

特別支援学校及び特別支援学級については、あんま・マッサージ・指圧師、はり師、灸師等国家資格取得に向けた教育カリキュラムを実施するために必要な特別支援教育設備及び、窯業・農業・木工作業等の職業教育実習に必要な設備を整備した。その結果、生徒の進学・就労への自信と意欲を向上させ、目標達成に大きく前進することができた。

3 目標達成に対する今後の取り組み

産業教育設備整備については引き続き新規設備の整備及び既存設備の更新を行い、児童・生徒の専門的な知識や技術の活用能力の向上、資格取得等の促進により、就職内定率の向上に努める。

特別支援教育設備整備については、児童生徒の社会参加や自立を図る教育カリキュラムを実施するため、できるだけ個々の状況に対応できるような特別支援教育設備を図り、進路決定率の向上に努める。

沖縄振興特定事業計画評価表【公立文教施設整備事業】

1 目標

安らぎと潤いのある生活空間の創造

学校・家庭・地域社会が連携協力して夢と実行力のある青少年の育成に取り組み、多様な人材を育成するため、地域・学校連携施設を整備する。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H16年)	実績値 (H18年)	実績値(A) (H19年)	目標値(B) (H23年)	達成率 (%)
公立学校老朽建物の整備率	%	85.6	86.8	87.6	93.0	94.2

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。(A)/(B)\*100

(2) 達成状況に対する説明

老朽校舎を整備するに当たり、学校・家庭・地域社会が連携協力することの重要性に鑑み、地域のもつ教育力を活かした学習活動や地域の生涯学習活動等を実施するための場、また、高齢者をはじめとする地域の人々の交流の場を備えた地域コミュニティの拠点となるよう、学校施設の整備推進を実施し、目標達成に向け前進が見られた。

3 目標達成に対する今後の取り組み

今後とも、市町村と連携し、老朽校舎の改築に合わせて地域連携施設を整備することにより、地域交流拠点の充実を図る。

沖縄振興特定事業計画評価表【農業・食品産業強化関連事業】

1 目標

地域特性を生かした農林水産業の振興

優良純粋種豚などの安定品目について、生産性の向上を図り、安定的な生産供給体制を確立するために、市町村に対して優良種豚の貸付を行う。

2 指標の達成状況

(1) 指標の達成状況

指標名	単位	基準年値 (H17年)	実績値 (H18年)	実績値(A) (H19年)	目標値(B) (H23年)	達成率 (%)
優良種豚貸付頭数	頭	37	37	37	37	100

※達成率とは、目標値に対する当該年度の達成状況である。(A)/(B)\*100

(2) 達成状況に対する説明

県内において優良純粋種豚生産に意欲的な市町村に対し雌30頭、雄7頭の優良種豚の貸付を行い目標値を達成することが出来た。

3 目標達成に対する今後の取り組み

市町村に対する優良種豚の貸付については、県内養豚振興に直接結びつく事業であることから、今後とも優良純粋種豚などの安定品目の生産性の向上及び安定的な生産体制を確立するため、効率的かつ地域の実情に則した事業実施に努める。